



千葉市立千城台南中学校

令和8年度 7号

発行日 令和8年10月8日(木)

043-237-1521

◆学びと努力◆

校長 横田 俊之

4月にスタートした令和8年度も早いもので6ヶ月が過ぎました。どのような半年だったでしょうか。毎日の学校生活、行事、部活動、友だちとの関わり等々、様々なことがあったと思いますが、その中で「学習」について考えてみてください。

9月に前期の期末テストの「結果」が返却されたことと思います。その結果を見て、いろいろな思いが巡ることでしょう。「もっと勉強しておけばよかった」「もっと授業に集中しておけばよかった」などといった反省や、「努力した成果があらわれた」「しっかり授業に取り組んでいてよかった」など、それなりの満足感や達成感を味わった生徒もいると思います。

皆さんはいずれ学校を卒業して社会に出ます。「社会に出たら勉強は終わり」ではありません。新たな仕事や新たな生活の中で、学び（勉強）と努力の日々が続きます。教師を例に考えます。教師は、自身が指導する教科の「知識」はもちろん、それ以上に「教科指導力」の向上を目指して校内や校外の研修会に参加していろいろな指導方法を学んだり、意見交換を重ねたりしています。また、国が定めた学習指導要領の内容を勉強し、その内容に沿った指導が行えるよう研修を重ねています。そのような学びと努力の毎日を過ごしています。

教師に限らず、「社会に出て働いている人たち」はそれぞれの仕事独自の知識や技術を身に付けられるよう、日々学びと努力を積み重ねています。学びや努力を積み重ねることは、人が生きていくうえで避けて通れないことだと思います。

皆さんは、学校生活の中で、授業以外にも部活動や委員会など多くの「学ぶ場」「努力する場」があると思います。同様に、家庭生活の中にもそのような場面はあると思います。「学びと努力」を意識して生活してみてください。



◆前期終了にあたって、各学年代表生徒の話◆

私たち1学年生徒会では、これまで1年生の行動についてさまざまな呼びかけを行ってきました。しかし、どの呼びかけもまだ十分に全体へ浸透しているとは言えず、中学生としてふさわしい行動ができていない場面も見られると感じています。

改めて全体として、次の3つのことを意識して行動してほしいと思います。1つ目は、休み時間に廊下にたまらない。2つ目は、2分前着席を徹底する。3つ目は、授業態度を改善することです。学校生活の基本となることなので、しっかりと守るようにしてください。

私たち学年生徒会も引き続きこれらの呼びかけを行っていきます。しかし、本当に大切なのは、一人一人が意識して、自主的に行動することが大切です。

1年生としての行動を今一度見直し、全員でよりよい学年をつくっていきましょう。

1学年代表



前期を振り返って、2学年の頑張ったところ、よかったところは、時間に対する意識が強まったところでは。どのクラスも2分前着席をする人が増え、呼びかけをするとすぐに座ることができるようになりました。一方で、2分前着席をした後の私語といった授業と休み時間の切り替えが上手にできていないところが新たな課題だと感じました。この課題を改善して、メリハリのあるよい学年にしていきたいです。さて、後期が始まると私たち2学年は、学校のリーダーという存在になります。また、私は一人一人が自分を表現できる学年にしていきたいと考えています。自分の意見を言ったり、全力で何かをしたりするとなると恥ずかしく感じてしまうかも知れません。後期にある合唱コンクール、自然教室、そして、三年生を送る会を通して自分を表現できる学年になっていきたいと思います。そして、学年生徒会が行った挨拶アンケートでも、挨拶をする際に恥ずかしいと感じてしまう人が一定数いるということがわかりました。挨拶は、自分を表現することができる身近な方法です。挨拶をするのが恥ずかしいと感じても、自分たちから明るく安心して挨拶を返せる雰囲気づくりをしていきましょう。

誰かが、何かを発表した時に、それを全員が温かく受け止め、認め合うことができる学年を目指していきませんか。1年生の手本となり、3年生からバトンを受け継げるよう学年一丸となって頑張っていきたいと思います。

2 学年代表



前期を振り返ると、私たち3年生にとって、さまざまな経験をする事ができた半年間だったと思います。4月に3年生になってから、半年が経ちました。最初は、最上級生になったという実感があまりなかった人もいますが、修学旅行や体育祭などの行事を経験する中で、少しずつ3年生としての自覚が持てるようになってきたと感じます。3年生最初の行事の修学旅行では、自然教室とは異なり生徒だけで活動する場面が多くありました。自分たちで時間を確認し、次の行動を考える中で、周りを見て行動することの大切さを学びました。

普段の学校生活でも、時間を意識したり、周囲に声をかけたりする場面が増えたことは、前期の成長の一つだと思います。一方で、これから意識したいこともあります。その一つが挨拶です。今後は、高校見学など、学校の外の方とかかわる機会が増え、外部の方が来校することもあります。受験生として勉強に励むだけでなく、普段の挨拶や行動にも気を配っていきましょう。

後期には、中学校生活最後の合唱コンクールがあります。今年は、昨年よりも練習に力を入れている人がどのクラスにも増えたと感じています。最後の合唱コンクールだからこそ、これまでの行事で身につけた協力する力を生かし、みんなでいい合唱をつくりたいです。

合唱コンクールが終わると、本格的に卒業やそれぞれの進路について考える時間も増えてきます。受験に向けて不安になったり、思うようにいかなかったりすることもあると思いますが、そんなときこそ周りとは声をかけあいながら、自分の進路と向きあっていきたいです。

前期の成長を後期につなげ、残りの学校生活を大切に過ごしていきたいです。

3 学年代表

